

2022年6月3日(金)

決算説明会

【2022年3月期決算説明】

証券コード:4531



有機合成薬品工業株式会社
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

説明内容

- i. 会社概要
- ii. 2022年3月期決算と市場の状況
- iii. 2023年3月期の計画
(中期経営計画 最終年度の取組み)

i. 会社概要

設立 1947年(昭和22年)11月4日
資本金 34億7千1百万円
事業所 本社 東京都中央区
東京研究所 東京都板橋区
常磐工場 福島県いわき市
従業員 296名
(2022年3月31日現在)
株式市場 東証スタンダード市場



企業理念

『わが社は
内外のあらゆる技術を駆使して
人の役に立ち人によろこばれるものを創る』

創業(1947年)以来、70年以上にわたり
社会に貢献する化学製品を提供しております



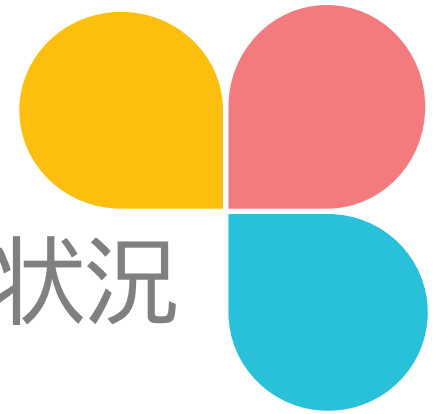
3つの事業分野



アミノ酸

化成品

医薬品

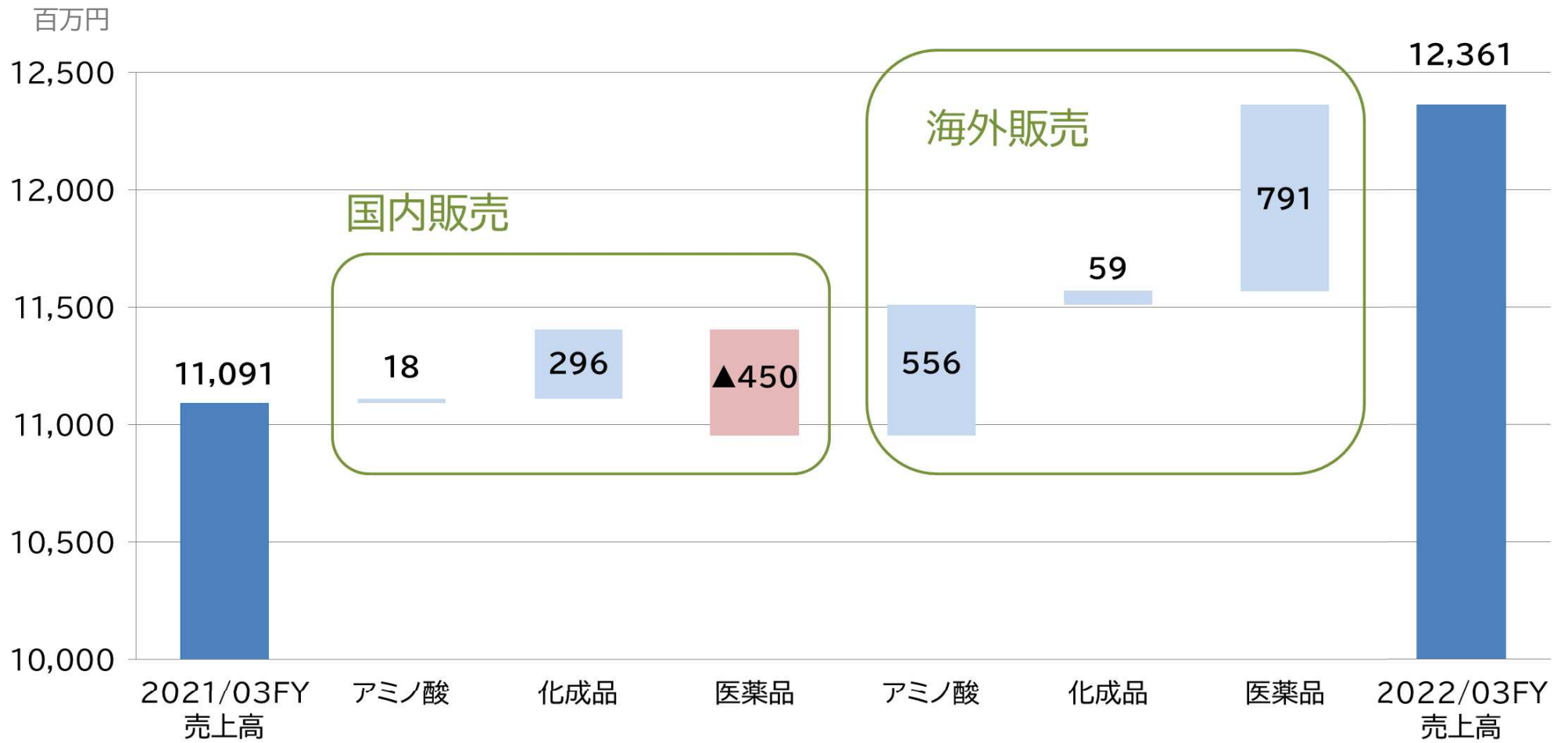


ii. 2022年3月期決算と市場の状況

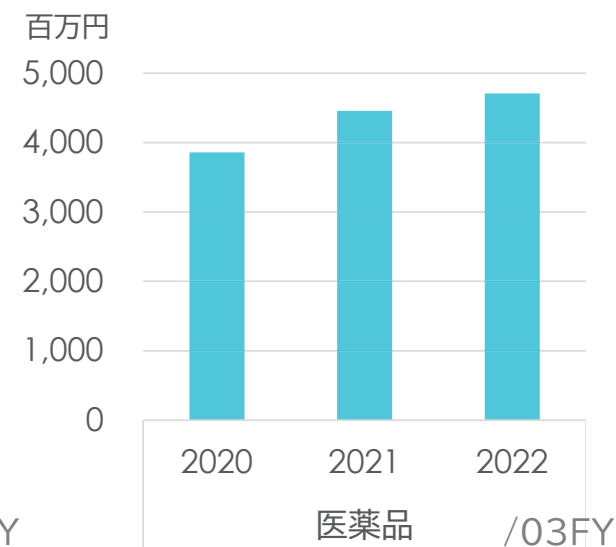
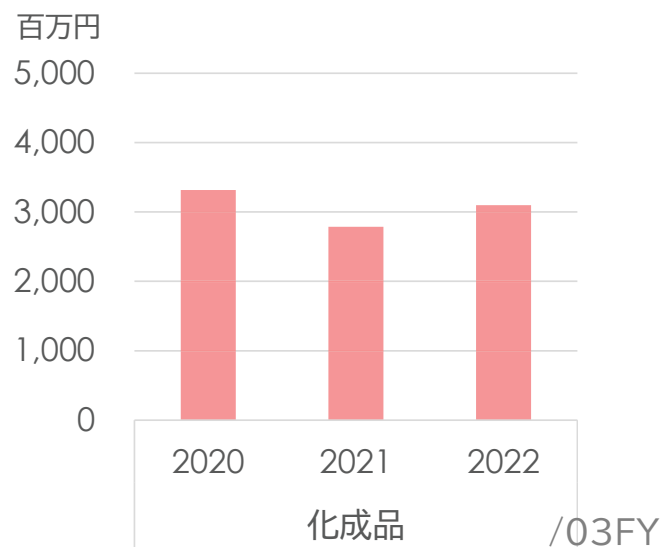
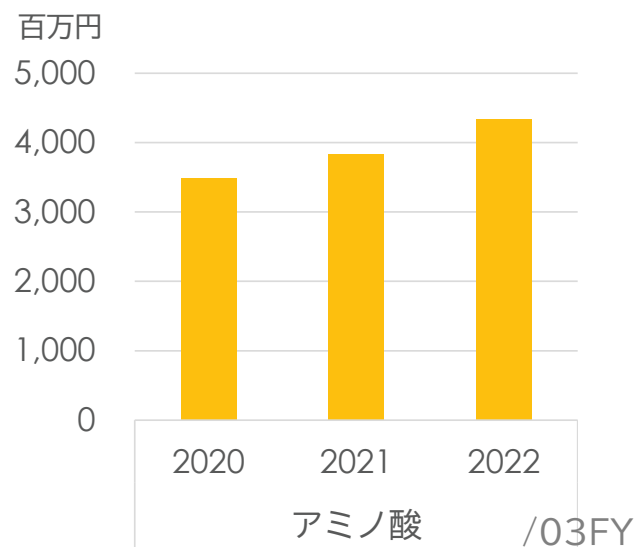
2022年3月期決算

	2022年3月期 (百万円)	
	計画 (2021年4月)	実績
売上高	12,000	12,361
アミノ酸関係	4,500	4,411
化成品関係	2,700	3,143
医薬品関係	4,800	4,806
営業利益	360	413
経常利益	330	397
当期純利益	180	248
配当	3円/株	4円/株

売上高分析(分野別、国内外別)



分野別売上高推移、対前年比



分野別市場の推移、昨年度の総括

アミノ酸

医薬と半導体用途が伸長

グリシン、 β -アラニンのアミノ酸事業の構造改革を実行。グローバルマーケットでのトップシェア維持・拡大を図るべく、積極的な投資を計画

医薬、半導体用アミノ酸の安定供給
アンチダンピング税率低減
アミノ酸の新機能開発
サプリメント販売準備

化成品

堅調な需要

農薬、特殊触媒、半導体向けの需要増加に対応。サプライチェーン戦略による安定供給により、お客様のグローバル戦略を支援

半導体向けの新製品を育成
堅調な船底塗料、自動車タイヤへのモノマー安定供給

医薬品

医薬中間体の売上拡大

クオリティーカルチャー戦略に基づきポートフォリオの充実を図ってまいりました。その成果は販売面にも影響し、今や多くの国々へ有効成分を供給しています

国内ジェネリック市場への安定供給
医薬中間体の増産体制の構築
グローバル原薬の安定供給
ジェネリックと長期収載品の不調

海外市場の推移、昨年度の総括

海外
売上高比率
46.2%

➤ 海外市場の変化

➤ 成長分野

- ・ 半導体IT分野
- ・ 代替エネルギー、脱炭素分野
- ・ ヘルスケア分野
- ・ 運輸及び物流関連産業

➤ リスク要因として国際物流を取り巻く環境

➤ 海上輸送

中国リスク・・経済活動再開時の爆発的な物量増加

北米リスク・・慢性的な港湾物流の鈍化

西海岸労使交渉・・港湾労働者ストの懸念

その他・・制裁関税撤廃のタイミング(2022年7月)

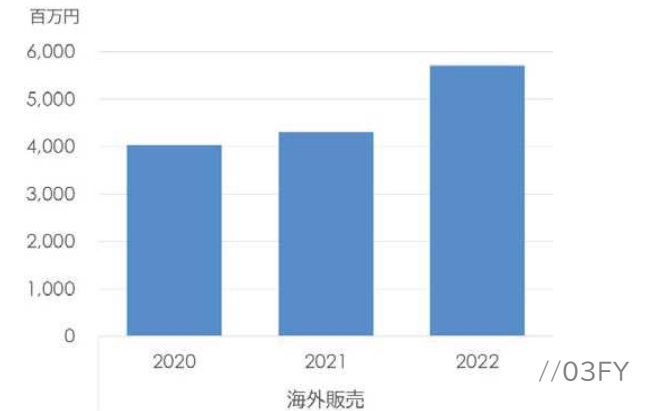
➤ 航空機輸送

欧州向け・・ウクライナ戦争による迂回ルートのコスト



対応① 事前にリスク分散対応

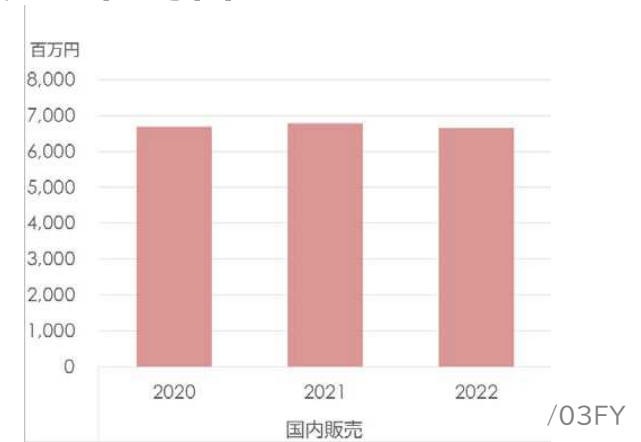
対応② ロジスティクスカンパニーとの協働



国内市場の推移、昨年度の総括

国内
売上高比率
53.8%

- 好調な化学業界、とりわけ輸出型事業
 - 自動車、船舶、半導体原材料、化学企業全般
- 低調な国内医薬
 - ジェネリック原薬、長期収載品、感染症医薬が不振
 - マスク、手指消毒などの基本的コロナ対策により一般的な感染症が激減
- 変化への迅速な対応
 - 自動車、農薬、特殊触媒などの需要拡大に対応
 - 半導体関連材料の拡大



パートナーシップ(業務提携・協業)の継続・強化

ニプロ株式会社との業務提携

- ジェネリック医薬品の共同研究開発
- メイドインジャパンの原薬供給
- 原薬の安定確保

長瀬産業株式会社との業務提携

- アミノ酸事業を中心とした協業
(市場調査、販売戦略、利益計画)
- 各マーケットニーズに合わせた用途開発

大鵬薬品工業株式会社との協業

- 同社が開発した抗悪性腫瘍剤「ロンサーフ®配合錠T15・T20」の有効成分「トリフルリジン」を提供
- グローバルでの需要増により増産および供給計画を立案し両社で合意

ESG・サステナビリティ



Ecovadisサステナビリティレーティング『ゴールド』を獲得
「環境」、「労働と人権」、「倫理」、「持続可能な資材調達」の4つの調査項目で、
上位5%となる『ゴールド』と評価

CSRレポート発刊

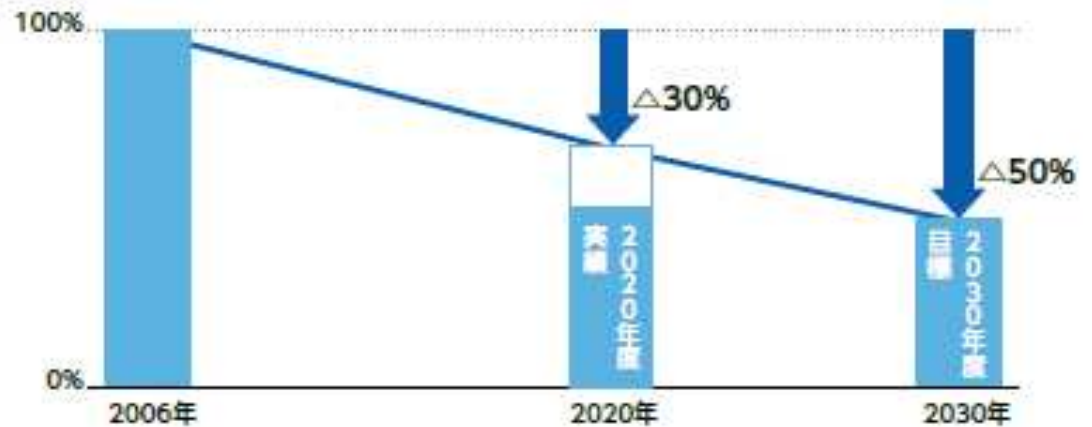
URL : https://www.yuki-gosei.co.jp/environmental_policy/



社会との関わり～CO2削減の取組み～

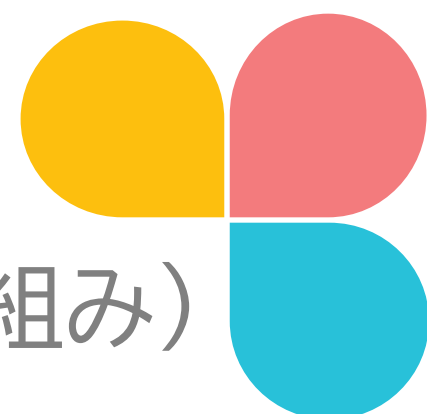


中長期ビジョン



2020年度の実績

	目標	2020年度実績	削減率
CO ₂ 排出量	30%削減 (2006年度比)	17,672t	44.1% 目標達成



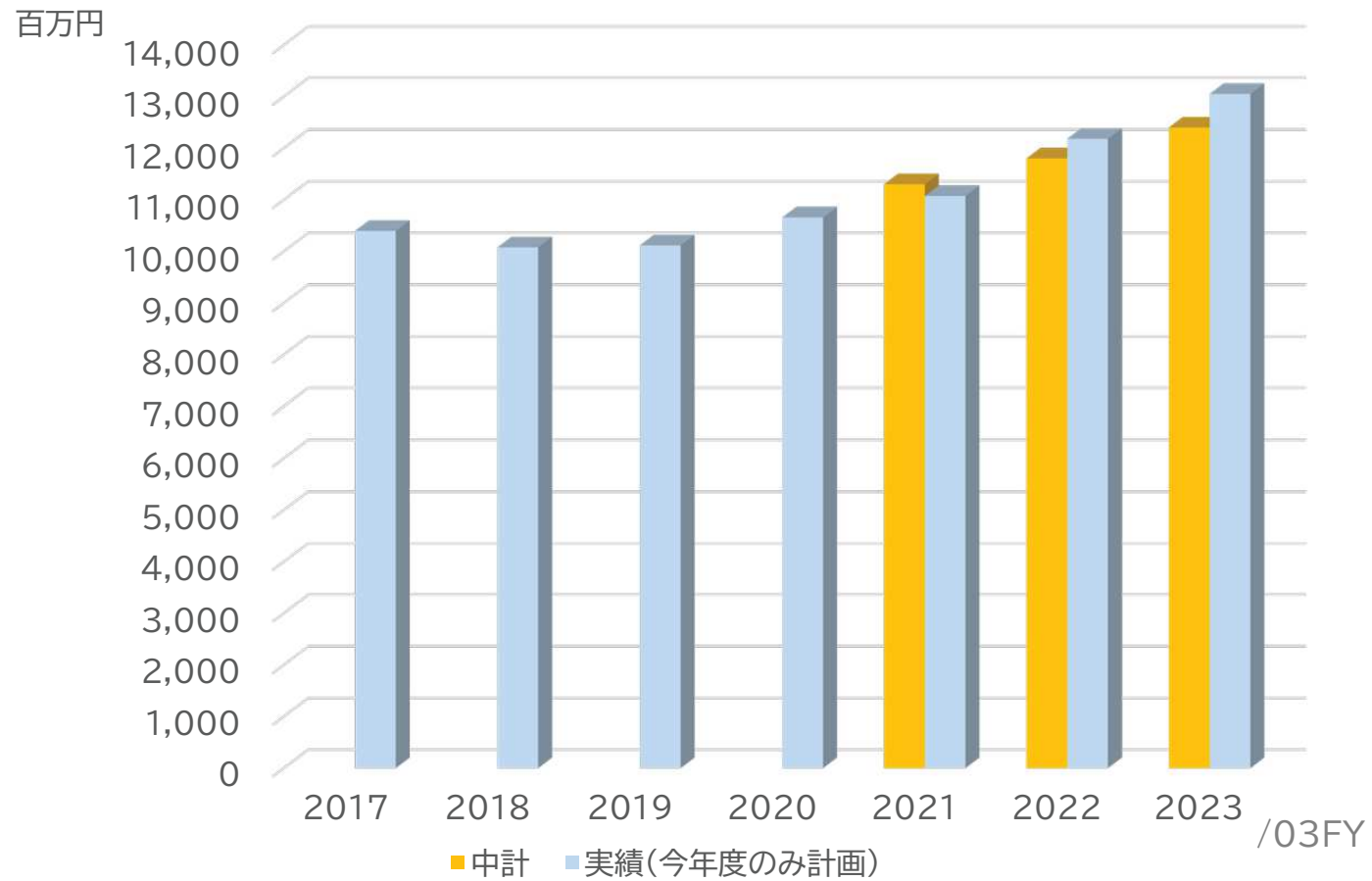
iii. 2023年3月期の計画
(中期経営計画 最終年度の取組み)

中期経営計画の進捗

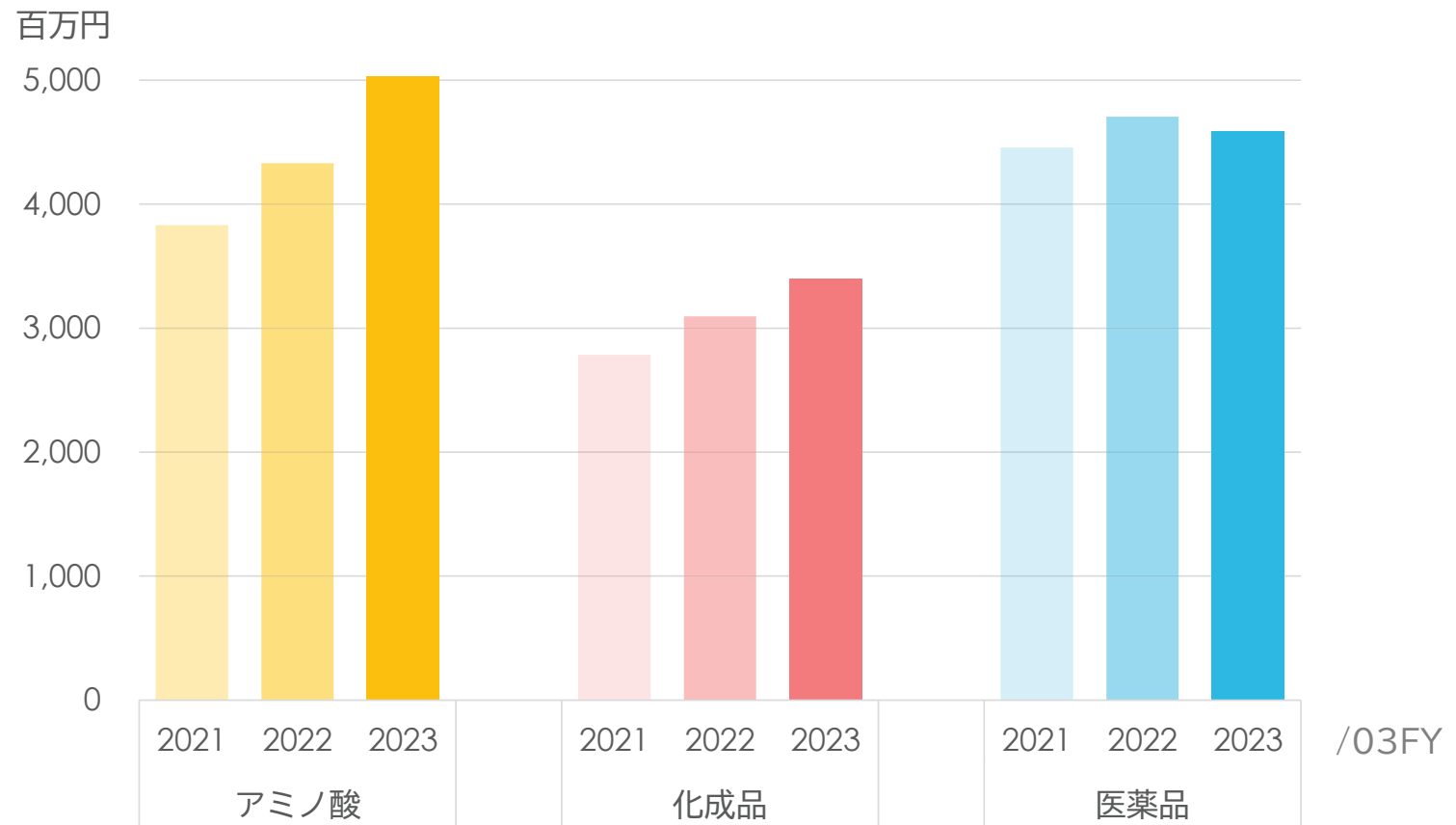
中期経営計画と実績 (年度別、百万円)

	1年目(2020年)		2年目(2021年)		3年目(2022年)	
	中計	実績	中計	実績	中計	現計画
売上高	11,300	11,091	11,800	12,361	12,400	13,000
アミノ酸関係	4,605	3,838	5,015	4,411	5,100	5,030
化成品関係	2,665	2,788	2,685	3,143	2,900	3,410
医薬品関係	4,030	4,465	4,100	4,806	4,400	4,560
営業利益	250	218	370	413	430	640
経常利益	220	176	330	397	400	610
当期純利益	160	288	180	248	220	390
配当	-	3円/株	-	4円/株	-	5円/株

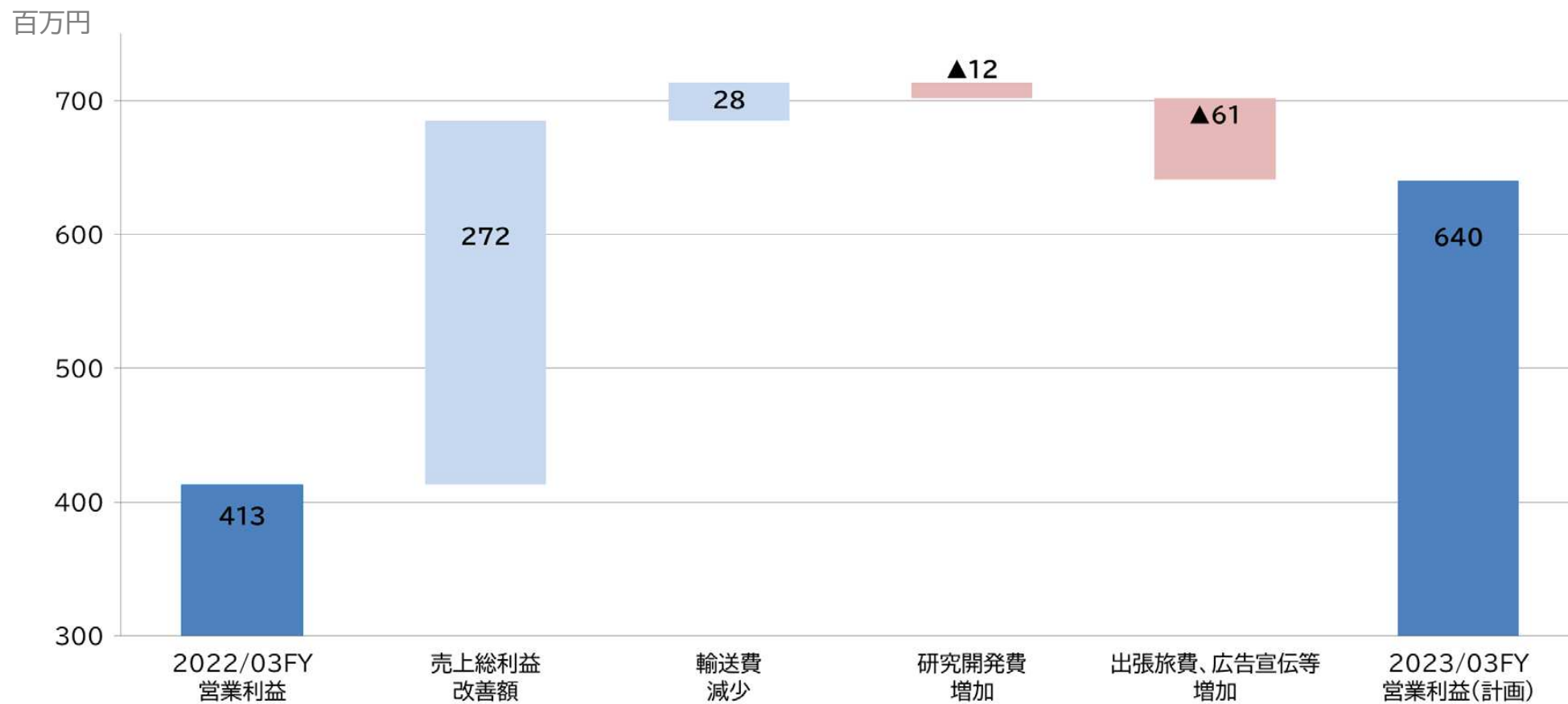
2023年3月期の計画(中計最終年度)



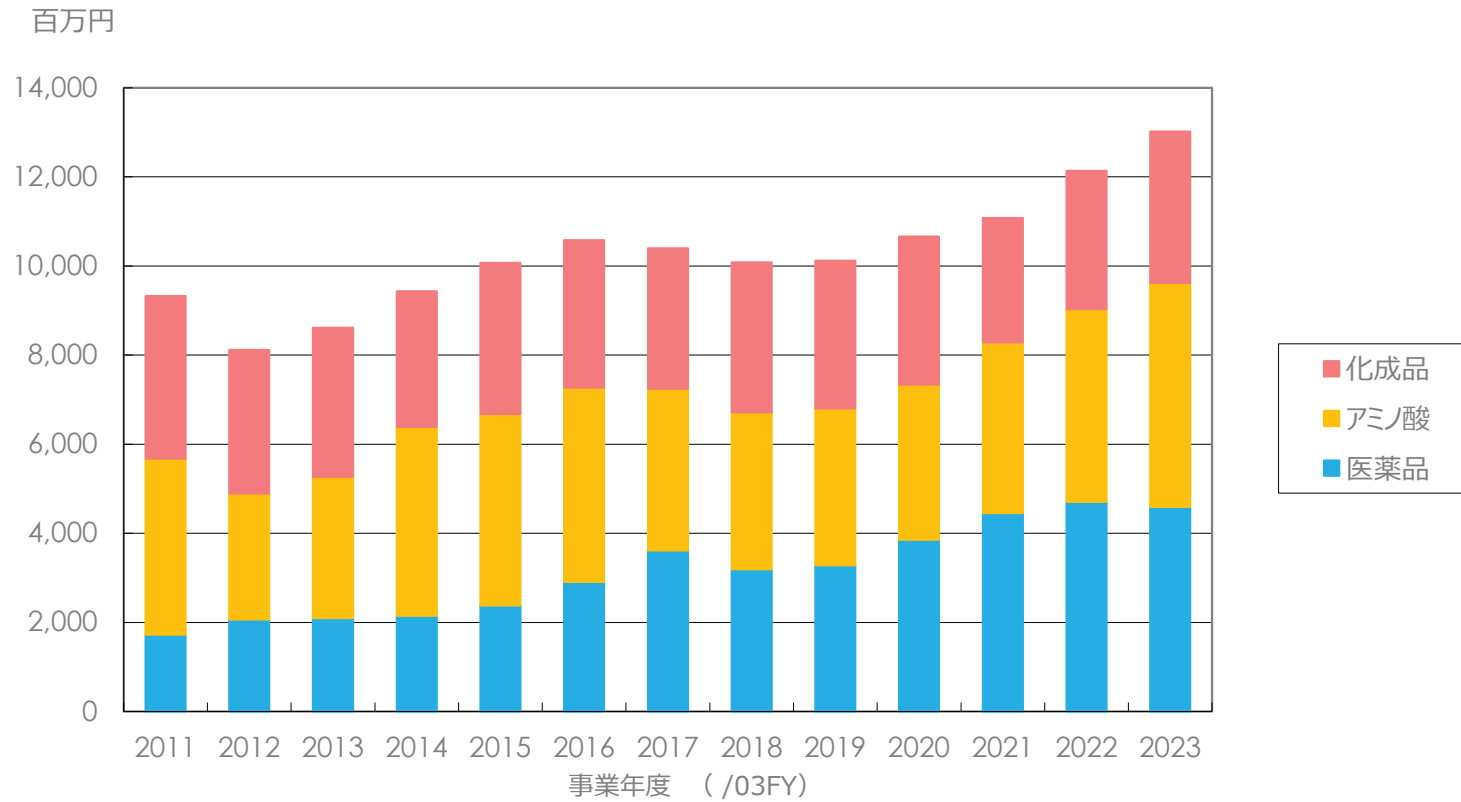
分野別売上高計画



2023年3月期の利益計画(中計最終年度)



業績トレンド



中期経営計画の重点施策

- i. クオリティーカルチャーの向上
- ii. 働き方改革と人材育成
- iii. アミノ酸事業の再生・再構築
- iv. 新規医薬品設備の活用、新製品開発体制の拡充
- v. 化成品分野の基盤強化

クオリティカルチャーの向上

「お客様にご満足いただける 製品やサービスというのは、製品品質だけでなく、組織と個人の信念・行動」

クオリティーカルチャーを向上させ経営効率を上げると共に、事業継続性を通じて社会貢献を実現する

『クオリティーカルチャー戦略』



働き方改革と人材育成



新人事給与制度導入

基幹統合システム導入予定

グローバル人材教育、マネジメント人材育成

研究開発の活動状況

アミノ酸分野

オープンイノベーション戦略による、新機能の開発
サプリメントへのチャレンジ
▶サルコペニア対策 ▶長寿遺伝子、ミトコンドリア活性化
など研究は順調に推移

化成品分野

半導体分野へのモノマー開発と生産立上げ
お客様のニーズに基づくリーンスタートアップ戦略を推進も
新製品が少ないのが課題

医薬品分野

新規投入したジェネリック原薬の育成が課題
新薬向け医薬中間体の増産対応
CMOビジネスの拡大が課題
欧米向けアンメットメディカルニーズへ供給

アミノ酸のトピックス

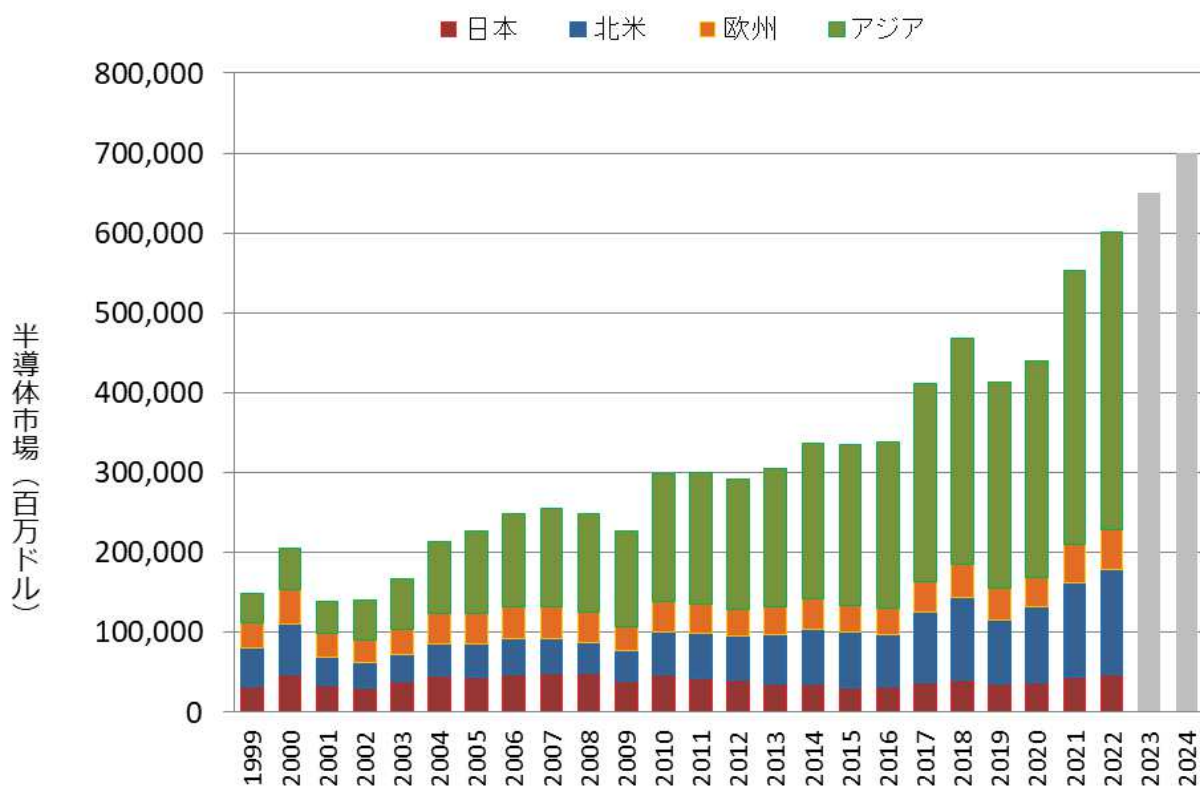
-開発したサプリメントを2022年7月よりECサイトで発売開始-



特許出願中:ミトコンドリアの活性化、サーチュイン遺伝子活性化など

化成品のトピックス 半導体市場の拡大

-データ出典:世界半導体市場統計(WSTS)／WSTS日本協議会-



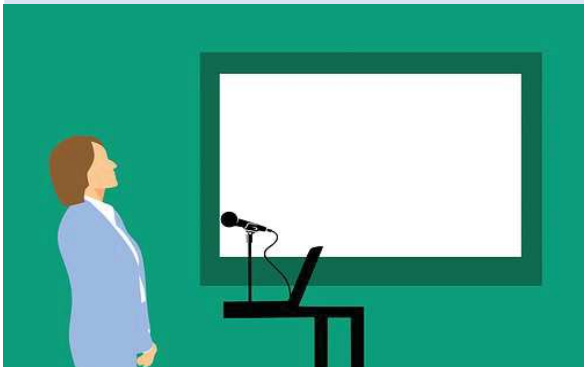
当社においては、
既存製品の安定供給と
新製品の育成による事業拡大

アミノ酸、化成品、医薬品の中計進捗

アミノ酸分野の再構築

事業構造改革(投資計画、利益改善)
グリシン、 β -アラニンのアミノ酸事業
の構造改革を実行。グローバルマー
ケットでのトップシェア維持・拡大を図
るべく、積極的な投資を実行

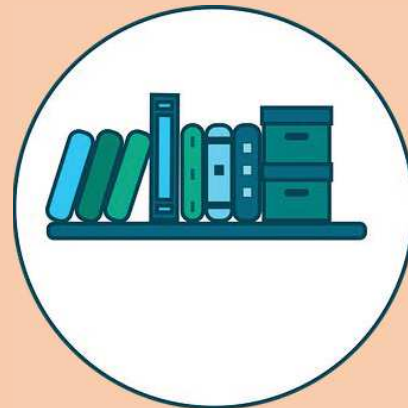
医薬用途と半導体分野への安定供給、
食の安全、アミノ酸の新機能開発、サブ
リメント販売、などをキーワードにお客
様のニーズにお応えしてまいります



化成品分野の基盤強化

農薬、特殊触媒、半導体向けの需要増
加に対応。サプライチェーン戦略によ
る安定供給により、お客様と一体と
なった継続的発展を目指します

化成品によるキャッシュ・カウを実現し
基盤強化を図ります。
また、新製品(半導体材料向けのモノ
マー)の生産技術開発に注力し、次期
中計の柱に育成したい



医薬品新規設備の有効活用

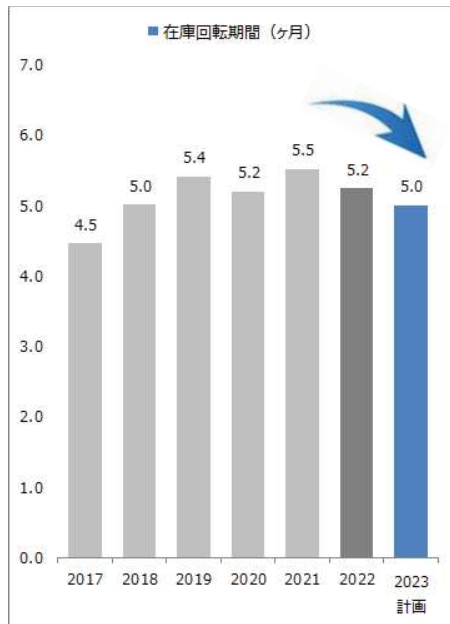
継続的な新製品導入をしております
●新規ジェネリック原薬の育成が課題
●医薬中間体の増産対応
●CMOビジネスの拡大が課題
●欧米向け希少疾病薬へ供給

クオリティーカルチャー戦略に基づき
ポートフォリオの充実させてまいりまし
た。多くの国々への供給を通じて、患者
様の命を支え、社会貢献していきたい
と考えております

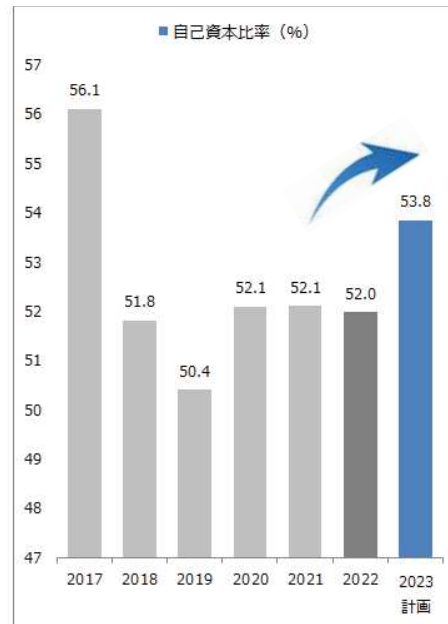


財務戦略と進捗

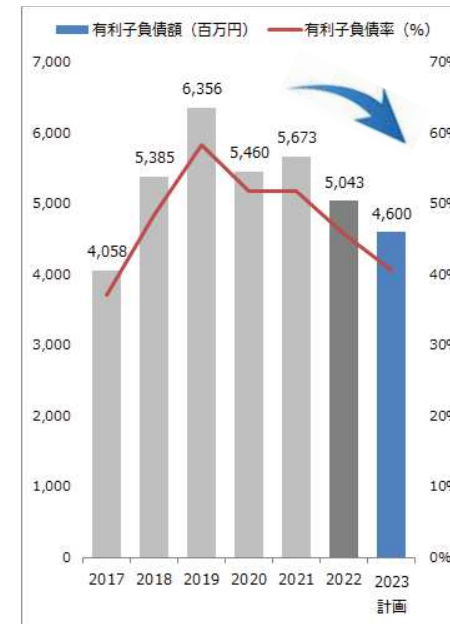
資産の効率化 キャッシュ創出力の強化



負債の圧縮・削減



財務健全性の向上



/03FY

中期経営計画のゴールと将来の姿

アミノ酸の目標

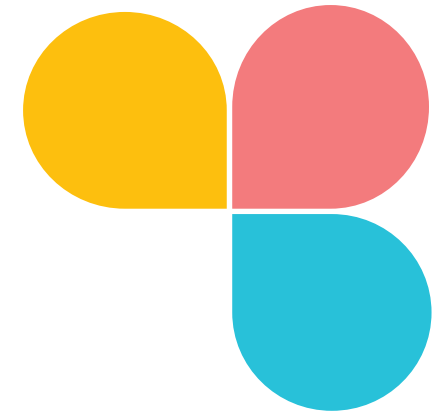
アミノ酸(グリシン、 β アラニン)のトップシェア維持拡大

化成品分野の目標

ニッチ領域における原料供給のリーディングカンパニー
(IT・半導体、船底塗料、特殊触媒)

医薬品分野の目標

グローバル市場へ医薬品原料を届ける先端CMO





有機合成薬品工業株式会社

YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。